

答えは... C!

年間
約464万トン廃棄

そのうち家庭で
約233万トン廃棄

日本では、本来食べられるにも関わらず廃棄されている食品が年間で約464万トン。

そのうち家庭からのものが約233万トン発生しています。1人当たりに換算すると、毎日お茶碗1杯分(約114g)が捨てられていることに...



知多市社協の取り組み



セカンドハーベストとの協定

認定NPO法人セカンドハーベスト名古屋と協定を結んで、食料提供をしていただいています。

市との協定

知多市と、連携・協力して実施することで、食品ロスの削減及び困窮支援、地域活動支援の推進を目的に協定を締結しました。

受入場所

- 1 知多市社会福祉協議会
- 2 知多市役所(環境政策課)
- 3 知多市リサイクルプラザ

○ お持ちいただける食品

- 常温保存ができるもの
- 賞味期限が1か月以上あるもの
- 未使用・未開封のもの
- 賞味期限の記載があるもの

バローグループとの連携

バローグループと連携し、フードドライブ活動を実施しています。知多市内のV・ドラッグ、公共施設(福祉活動センター、高齢者相談支援センター、総合ボランティアセンター)にフードドライブポストを設置しました。受付不要で家庭で余った食品を気軽に入れていただけます。食べきれない食品が出た際にはお持ち込みください。



設置場所については
こちら



× お引き受けできない食品

- ▲ 生鮮食品(要相談)
- × アルコール飲料
- ▲ 冷蔵・冷凍食品(要相談)
- × 賞味期限の記載のないもの



寄付いただきたいもの ランキング



よくいただくもの ランキング



フードドライブとは

家庭で余っている食べきれない食品などを持ち寄り、必要としている方に寄付する活動です。食べられるのに廃棄されている食品。例えば眠ったまま消費期限を迎えて食べられなくなる、食べられるのに捨てられてしまっている食品を「もったいない」から「ありがとう」に変える、食品と一緒に思いやりの気持ちも届ける活動がフードドライブです。



もらいもの、備蓄品、
買いすぎなど

地域推進



地域における地域交流活動などに食糧支援を行うことで、地域福祉の向上を目指します。

フードドライブの役割

生活再建



生活に困っていて、緊急のかつ一時的に生活支援を必要とする方に食糧支援を行うことで、生活再建を目指します。

寄付してくれた企業 A

フードドライブに初めて参加しましたが、非常に多くの寄付品を集めることができました。この活動が少しでも地域社会に貢献できればと思います。

寄付してくれた人

家に眠っていた食品が、誰かの役に立つなら嬉しい。余っていた食べ物を無駄にすることもなく、必要な人に届くなら一石二鳥。

子ども食堂 B

限りある運営費の中で食材をまかなうことが難しいことがあり、食材をいただけて、とても助かっています。

子ども食堂 C

たくさん子どもたちに食べてもらうために食数を多く提供しているの、お米や食材をいただけて、とても助かっています。

食品と一緒に
思いやりの気持ちも
届けたい

生活にお困りの方

子どもがご飯を食べている姿を見て、また頑張ろうって思えました。本当にいつか私も誰かを支えられるように、頑張りたいです。ありがとうございます。

ちなみに...

企業や農家からまだ十分食べられるのに、賞味期限が近かったり規格外で余っている食品を寄贈してもらい、食べ物を必要としている人のもとへ届ける活動を「フードバンク」と言います。

知多市社会福祉協議会ではフードバンクも実施しています。企業さん・農家さんからのご協力もよろしくお願いたします!

さいごに

フードドライブは手軽に参加でき、食品ロス削減に貢献しながら生活にお困りの方の支援や地域社会貢献ができる活動です。ぜひご協力をお願いします!